

平成29年度各部の重点課題の取組結果

部名	政策推進部
部長名	市川 信行
総合政策監	山口 智弘
危機管理監	渡辺 耕次

【基本方針】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策についての企画・調整をはじめ、市民からの情報を受け止め、市民への情報発信を行うなど、市民との情報交流、市を動かすための職員に関する人事管理等を行っています。

全国的に少子高齢化による人口減少や地方経済の衰退が進む中で、今後にもぎわいや活力ある市としてあり続けるために、困難を極める財政面の健全化や多様化する市民ニーズにこたえられる施策に取組み、市政の情報を多様な広報媒体で積極的に発信することで、市民と協働した行政運営に努めてまいります。

(平成29年8月1日より危機管理部門が総務部から移管)

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	柏原市まち・ひと・しごと総合戦略の推進	C
2	行財政健全化戦略の推進	B
3	広報広聴活動の推進	A
4	より効率的・効果的な「働き方」の構築と実施	C
5	人事評価制度の確立と評価の「質」に関するさらなる成熟	C
6	防災体制の強化	B
7	消防、救急体制の充実	A

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 1	柏原市まち・ひと・しごと総合戦略の推進
--------	---------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進することで、人口減少に歯止めをかけ、定住化を促進し、持続可能なまちづくりの実現を目指します。
---------------------	---

活動目標	具体的な取組実績
市内の公共施設等を活用した「しごとの創生」に取り組みます。	母親労働拠点創出事業として株式会社ママスクエアと契約し、市内の子育て中の母親の新たな雇用創出を実現しました。

達成目標	達成状況	達成度
市民意識調査の「就労支援」、「商業」、「工業」、「子育て支援」の項目の満足度を前回数値より高めます。	「就労支援」、「商業」、「工業」、「子育て支援」すべての項目で、前回数値を上回ったものの、人口減少は進んでおり、前年度同月の比較では580人減となりました。	B
		概ね達成

総合評価・総括

柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の柱として位置付けられている「しごとの創生」についての取組として、子育て中の母親が子どもの傍らで働ける事業所を開設する事業者を公募し、決定しました。市立勤労者センターを拠点として平成30年3月2日にオープンし、市内の子育て中の母親の雇用創出につながったと考えています。しかしながら、一方では「まち・ひと・しごと創生柏原市人口ビジョン」の見通しよりも早いスピードで人口減少が進んでおり、今後も子育て世帯への支援等を中心に人口規模の確保に向けた取組みを進めてまいります。

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 2 行財政健全化戦略の推進

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向
(中期的な目標)
第2期柏原市行財政健全化戦略（平成27年度～平成31年度）における具体的取組項目の健全化目標を達成するため、PDCAサイクルによる進行管理に加え、財源確保に向けた新たな取組を実施します。

活動目標
市が実施する全ての事業について、その必要性や費用対効果を精査する事業評価に取り組みます。

具体的な取組実績
事業評価の対象となる340事業のうち、70事業についてヒアリングを行い、各事業ごとに「廃止」、「一部を廃止」、「凍結」、「一部凍結」の項目別の評価を実施しました。

達成目標
事業評価の結果を行財政健全化戦略に盛り込み、財政調整基金を取り崩すことなく、単年度の黒字化を目指します。また、市民意識調査の「行財政改革」、「財政運営」の項目において満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
今年度の事業評価を、平成30年度予算編成に反映し、単年度の黒字化に向け努めてまいります。なお、行財政健全化戦略の具体的取組項目における取組効果につきましては、平成29年度の目標効果額を上回る見込みとなりました。また、市民意識調査の「行財政改革」、「財政運営」の項目については、満足度が前回数値を上回りました。	B 概ね達成

総合評価・総括
財源確保の新たな取組として「事業評価」を実施し、既存事業をゼロベースで精査した結果、事業の「完全廃止」が3事業、「一部廃止」が4事業と計7事業の事業費を見直すことで、平成29年度の予算額ベースで計3,273千円の削減を行いました。今後も各事業について、定期的に必要性や費用対効果などを検証し、類似事業との統合を行うなど、より効果的、効率的に実施することで、引き続き財源の確保に取り組んでまいります。

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 3 広報広聴活動の推進

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標)
広報誌やウェブサイトなどでの適切な情報発信を行い、SNSによる対話型ツールの活用により、市民が市政に関心を持ち、積極的に市政に参加する市民協働によるまちづくりの実現を目指します。

活動目標	具体的な取組実績
新たな投稿型SNSの導入に取り組みます。	2月下旬に導入。合わせて市民対象の講習会を2回開催しました。(2月24日午前1回・午後1回)
積極的な取材により、「新たな地域資源」や「まちの魅力」を掘り起し、広報かしわら及び特集号に掲載することにより、市民意識の醸造を図ります。	地域資源の発信として、「ぶどう」・「鉄道」をテーマにした特集号を2回発行し、市民意識の醸成を図りました。

達成目標	達成状況	達成度
市民意識調査の「市政参画」の項目において満足度を前回数値より高めます。	僅か(0.07ポイント)ではあるが、「市政参画」の満足度が向上しました。	A 達成
市民が「まちの魅力」を誇りに感じ、住んでみたい、住み続けたいまちとして、定住化を図り、人口減少率を前年度より低下させます。	各年12月末の比較で、0.85%改善されました。 平成29年12月末70,118人 平成28年12月末70,698人 平成27年12月末71,344人	A 達成

総合評価・総括

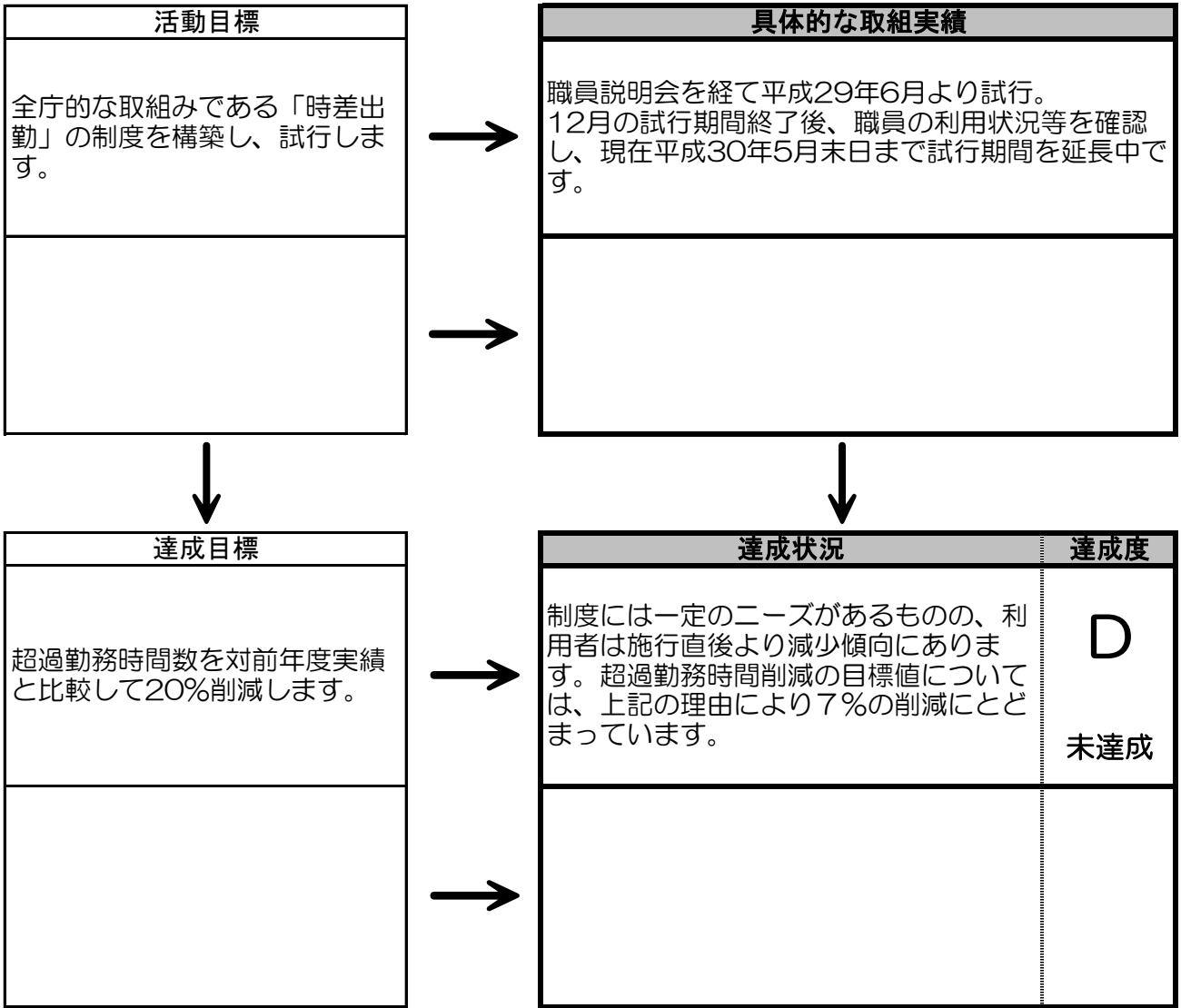
広報誌やウェブサイト及びSNSにより適切な情報発信を行い、また、市民参加型のツールとして、新たなSNS(インスタグラム)を導入したことにより、市民が「まちの魅力」を再認識し、市民意識が醸成され、市民協働によるまちづくりが推進されました。

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 4 より効率的・効果的な「働き方」の構築と実施

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 職員のワーク・ライフバランスを推進し、働き手自らが「働き方」を変えることにより、業務の実施方法等の見直しや超過勤務時間の縮減、職員の健康の維持増進を目指します。



総合評価・総括

職員になお一層の利用を促すようなテコ入れ策を実施することができませんでした。安全衛生委員会などで制度定着に向けた改良点などを引き続き検討していきたいと考えています。

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 5	人事評価制度の確立と評価の「質」に関するさらなる成熟
--------	----------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	本市の将来を担うべき人材の育成と、組織力向上、職員のモチベーションの向上に資するため、人事評価制度のさらなる成熟を図ります。
---------------------	--

活動目標
評価者の「評価基準」のさらなる統一化を図るとともに、人事評価調整委員会を立ち上げ、評価調整を実施します。

具体的な取組実績
業績評価における『難易度』の設定において、評価者ごとのばらつきが顕著であったため、難易度設定に関して例示する資料を作成しました。さらに、『担当する通常業務』の割合を増やし、個別目標に記載されている事柄から、通常業務の範疇に入る事柄を除外する工夫をしました。

達成目標
職員から納得を得られる評価制度を確立します。

達成状況	達成度
本年度の評価結果がまだ確定していないため、達成度は現時点では不明です。	E
	未実施

総合評価・総括
本年度の業績評価の結果を、平成30年12月支給の勤勉手当に反映していくことが決定しており、その財源については確定しています。人事評価調整委員会による評価調整については、平成30年4月以降に実施してまいります。

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 6	防災体制の強化
--------	---------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害に対する意識の改革と減災を目指します。
---------------------	-----------------------

活動目標
自主防災組織の結成及び自主防災訓練の実施に取り組みます。
各種災害時マニュアルの策定に取り組みます。

具体的な取組実績
自主防災訓練を6回開催し、29町会1250人が参加しました。 (台風接近により3回中止。11町会参加予定でした。)
今年度業務継続計画を策定します。 課長級職員への説明会を1回、係長級職員によるワークショップを2回開催しました。 年度末までに業務継続計画の暫定版を取りまとめます。

達成目標
自主防災組織率の向上と自主防災訓練内容の充実を図ります。
マニュアルの策定において災害時の意識改革を行い、防災体制の確立がスムーズに行えます。

達成状況	達成度
2町会を残して結成済みです。 組織の自主性を尊重しつつ、消防本部及び消防団と協力して訓練内容を工夫し、マンネリ化の防止を図りました。	B 概ね達成
業務継続計画の策定作業の中で前年度作成の班別初動マニュアルの見直しを行いました。次年度策定予定の受援計画についても既に契約済みです。	A 達成

総合評価・総括
<p>自主防災組織については、消防団や消防本部の協力を得て、今後も訓練回数及び参加者が増加するよう改善を重ねていきたいと考えています。</p> <p>職員については、昨年10月の災害を経て、防災に関する意識が高まり、班別マニュアルの見直しや業務継続計画の策定がより実効性のあるものになったと考えています。</p>

部名	政策推進部
----	-------

重点課題 7	消防、救急体制の充実
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害発生時は初動活動が重要であることから、いつでも対応が出来るような体制づくりを目指します。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
消防団の技術向上を図るために講習会や災害対応訓練に取り組みます。	30年1月末までに火災・風水害による出動が6件249人、訓練による出動が65件941人、夜警・自主防災訓練のための出動が17件567人となっています。
柏原羽曳野藤井寺消防組合との連携を深めます。	30年1月末までに柏原市管内で火災12件、救急3148件に対応しました。消防本部から職員の派遣を受けています。出初式、消防記念日表彰などを共同開催しています。

達成目標	達成状況	達成度
消防団の技術向上により、迅速な消火活動や災害対応が可能となります。	9月には大阪府消防大会において自動車ポンプ操法で3位入賞を果たしました。10月の台風に伴う災害時には、パトロールに加え、避難勧告の市民への周知や土嚢積み等の活動を消防団が行いました。2月の消防団訓練では放水訓練に加えて水害対応訓練も実施しました。	A 達成
柏原羽曳野藤井寺消防組合との連携により消防、救急体制を充実し、市民の生命、身体、財産を守ります。	火災時には消防本部と消防団が協力して消火活動等を行いました。消防組合からの派遣職員の知識経験により消防団事務及び自主防災組織関連事務が充実しました。	A 達成

総合評価・総括
狭義の火災や救急だけでなく、水難事故や道路への油漏れ、風水害への対応など市民の安全を守るための業務に、消防組合や消防団と協力しながら幅広く従事しました。10月には大きな災害もあったことにより例年以上に緊張感をもって連携できたと考えています。今後も消防団の活動範囲を拡大するとともに、情報交換、訓練等により消防組合との連携を深めていきます。